



# ぐんぐん!



相馬市立大野小学校  
第2学年 学年だより

No.47

令和6年3月8日



今週のめあて			こうしゃないがいの せいりせいとんをしよう	
日	曜日	下校時刻	学習予定	その他
11	月	13:00ころ	① こくご ② さんすう ③ せいかつ ④ ずこう	※5年生と一緒に「相馬市の名産品を知ろう」の学習。 ※4校時限(～13日)
12	火	13:00ころ	① こくご ② さんすう ③ たいいく ④ おんがく	※業間に式歌練習
13	水	13:00ころ	① こくご ② たいいく ③ さんすう ④ せいかつ	
14	木	14:40ころ	① こくご ② さんすう ③ たいいく ④ せいかつ ⑤ さんすう	※業間に式歌練習
15	金	14:40ころ	① こくご ② こくご ③ ぎょうじ ④ さんすう ⑤ おんがく	※ぎょうじ=卒業式練習

## 親父の小言28

今年の元旦に起きた能登半島地震から約2か月半が過ぎました。家屋の倒壊や津波被害、それに伴う避難生活。被災に遭われた方へ、お見舞い申し上げます。

さて、もうすぐ、3月11日。言うまでもなく、東日本大震災が起きた日です。13回目になります。当時、親父は、南相馬市小高区の小学校に勤務していました。午後2時46分。帰りの会の最中、大人も立ってられないほどの強い揺れに襲われました。教え子たちは、泣き出しました。子どもたちをなだめていると、大津波が沿岸部を襲っている情報が流れました。親父の家は、海沿いにあり、家族が心配になりました。夕方、学校を出て、家に向かったけど、道路が海になっていて、家にたどり着けませんでした。途中で引き返し、避難所で一夜を過ごしました。

翌日、東京電力第一原発の原発事故が起きました。親父の家は原発から18キロのところにあつたので、避難指示が出されました。南相馬市、飯館村、神奈川県川崎市、群馬県前橋市、会津若松市と親戚の家などに避難しました。

長期にわたる避難生活を体験してみても、ご飯を食べたり、布団に寝たりと、普通に生活することが当たり前のことではないと感じました。また、生かされた命。このことを肝に銘じて、これから生きていきたいと改めて思う親父でした。

## 1年生にプレゼント！

生活科で作ったうごくわたしのおもちゃを1年生にプレゼントしました。1年生教室に行き、「私たちが生活科で作った動くおもちゃをプレゼントします。」と代表のお子さんが言った後、1年生に手渡ししました。渡す時、おもちゃのあそび方を1年生に説明しました。1年生は、おもちゃで遊び、嬉しそうに笑顔を見せていました。

帰りに、1年生からありがとうの手紙をもらうサプライズがあり、2年生も嬉しくなりました。1年生のみんな、ありがとう。



↑ 1年生の教室であいさつ  
をしているところ。

→ 1年生からサプライズ  
のお手紙をもらっているところ。

